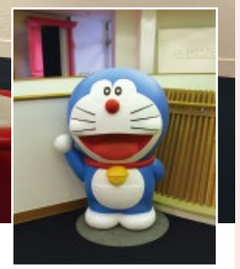
ミニ旅案内㉙

北陸の市町村

高岡市（たかおかし）

前田利長が高岡城を築いた城下町

高岡の風景が感じられる作品を展示する常設展示室



2周年を迎えた藤子漫画のギャラリー

高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー ●たかおかし ふじこ・えふ・ふじおふるさとぎゃらりー

高岡出身の藤子・F・不二雄氏の原画や愛用品などを常設展示。現在は2周年を記念して、原画展「F－GIRLSコレクション展」を2018年11月まで開催。『ドラえもん』のしずかちゃんをはじめ、F作品に登場する女の子を紹介している。新作ショートムービーも楽しめる。

☎0766-20-1170 住高岡市中川1-1-30 高岡市美術館2階
料入館500円 時9:30～17:00（入館は～16:30）
休月曜（祝日の場合は翌平日）、12月29日～1月3日
P83台

伝統の鋳物製作工程の見学と体験も

能作 ●のうさく

高岡鋳物の老舗、能作の新本社工場が2017年4月にオープン。産業観光による「ものづくりの街高岡」をPRするため、鋳物製造の現場見学や錫の鋳物づくり体験も可能な、だれもが楽しめる観光スポットに生まれ変わった。カフェも併設しており、ゆっくりくつろげる。

☎0766-63-0001 住高岡市オフィスパーク8-1
料入館無料、工場見学は無料で要予約、鋳物製作体験はぐい呑み3500円などで要予約
時10:00～18:00（工場見学は9:30～17:00）
休無休（工場見学は日曜、祝日休、土曜は不定） P22台

壁一面に並ぶ木型は約2000種類、現在も使われている

職人たちの熟練の技を間近で見られる工場見学

長年親しまれてきた地元の銘菓

大野屋 ●おおのや

富山みやげとして有名な銘菓とこなつで知られる老舗和菓子店。創業は1838年、およそ180年の歴史がある。伝統和菓子の木型でつくる愛らしい干菓子・高岡ラムネは、ユズ、リンゴ、イチゴ、ショウガ味があり、愛らしいパッケージが人気をよんでいる。10個入540円。

☎0766-25-0215 住高岡市木舟町12
時8:15～19:30（日曜、祝日は～19時）
休水曜（祝日の場合は営業） P4台

とこなつ

高岡ラムネ

高岡市 DATA
人　口：173,217人
面　積：209.42㎢
市の木：ツママ（タブノキ）
市の花：カタカゴ（カタクリ）
市の花木：桜
※高岡市HPより平成29年11月末日現在

※ご紹介記事の休日は、GW・夏期・年末年始・冬期等を省略しています。また、入館料は大人1名の料金のみ記載していますのでご了承ください。

奈良時代の歌人が見た越中を知る

高岡万葉歴史館 ●たかおかまんようれきしかん

グラフィックパネルや資料で紹介。遣唐使船の模型も展示

万葉集の編者で代表的歌人である大伴家持。かつて越中国守として政務をとったということにちなんだ歴史博物館がある。万葉植物を配した屋外庭園や、家持と越中の歴史を紹介する映像のほか、万葉集に関連した企画展も開催されている。

☎0766-44-5511 住高岡市伏木一宮1-11-11
料入館210円
時9:00～18:00（11～3月は～17:00）
休火曜（祝日の場合は翌日） P54台

四季ごとの万葉の植物を植えた庭を備えている

金工、漆工、染織の工芸技術が見事

高岡御車山会館 ●たかおかみくるまやまかいかん

展示される御車山は4カ月ごとに入れ替わる

2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された由緒ある祭り、高岡御車山祭を紹介。毎年5月1日に開催されるこの祭の主役を務める御車山は、前田利長が御所車を高岡城の築城の際に町民に与えたのが始まり。工芸の技が生かされた山車は圧巻だ。

☎0766-30-2497 住高岡市守山町47-1
料入館300円
時9:00～17:00（入館は～16:30）
休火曜（祝日の場合は翌平日）
P山町筋観光駐車場利用15台

山町筋に見られる土蔵造り風の建物

気まぐれコラム Column

映画『ナラタージュ』のロケ地をめぐろう！

2017年10月7日から全国ロードショーの映画『ナラタージュ』。松本潤さん、有村架純さん、坂口健太郎さんら、豪華キャストが出演した話題の映画のロケ地が高岡市内でした。この映画は高校教師と元生徒の禁断のラブストーリー。路面電車の万葉線、高岡古城公園、金屋町、高岡駅、御旅屋通り商店街、宮田のたいやきなどでロケが行われ、古き良き時代を感じさせる風景をバックに、二人の切ない愛の姿がより美しく描かれたのではないでしょうか。ロケは2016年7月から始められ、高岡市をはじめ、富山市、射水市、氷見市でも行われており、ロケ地マップも発行されています。マップはWebからもダウンロードできるので、気軽に出かけてみましょう。

御旅屋通り商店街

金屋町

高岡古城公園濠端

宮田のたいやき

古くからの歴史と伝統が息づくまちをゆったり散策

富山県の北西部に位置する県内第2の都市。1609年、加賀藩前田家2代藩主利長が荒野に城を築き、城下町をつくったのが始まり。金沢とは縁が深いまちです。市内のあちこちには前田家が治めた往時の名残が薫ります。利長が居城とした高岡城の跡、高岡古城公園をはじめ、旧北陸道沿いにある土蔵造りの商家が連なる山町筋。利長が近隣から商人を集めて住まわせたエリアで、和菓子の大野屋、高岡御車山会館があります。利長は高岡に鋳物産業を根付かせるために7人に鋳物師を招きました。その地が金屋町であり、能作を代表に鋳物産業が発達してきました。この山町筋や金屋町の通りは江戸～昭和の雰囲気が漂い情緒ある街並みを形成。映画のロケ地としても好適地で、10年ほど前に公開された『8月のクリスマス』も話題でしたが、2017年10月に公開された『ナラタージュ』はそれに増しての勢いで、ロケ地めぐりで全国からファンが訪れています。なかでも宮田のたいやきは、予約がないと手に入らないほどの人気です。

また、高岡は利長が開く遥か昔、大伴家持が越中国守として5年間滞在した地でもあり、その国守跡地近くに高岡万葉歴史館が立っています。往時に思いを馳せて歌を一首詠むのもいいでしょう。